

令和 5 年 5 月 31 日現在

機関番号：32652

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2017～2021

課題番号：17H06345

研究課題名（和文）顔と身体表現における感覚間統合の文化間比較

研究課題名（英文）Cross-cultural comparison of multisensory integration of facial and bodily expressions

研究代表者

田中 章浩（Tanaka, Akihiro）

東京女子大学・現代教養学部・教授

研究者番号：80396530

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 57,620,000円

研究成果の概要（和文）：本研究班は、コミュニケーションの視点から顔身体学の発展に寄与するため、感覚間統合の視点から顔と身体文化の形成過程とその基盤について主として以下のことを明らかにした。(1)日本人では顔優位から児童期を通して徐々に声優位にシフトする。また、見た目がコーカソイドで日本語を話す相手には声優位で感情を知覚しており、トランスカルチャー状況における「境界」とは見た目ではなく、言語によって作られる側面がある。(2)視聴覚感情知覚から社会的行動へとつながる道筋を明らかにした。(3)成人移民を対象にfMRI実験を実施し、移住による異文化再適応によって顔の影響を受けやすくなり、pSTGの活動パターンが変化する。

研究成果の学術的意義や社会的意義

上記の研究成果を学術論文として出版するとともに、コロナ禍でマスク越しやオンラインでのコミュニケーションにおける顔・身体への関心と重要性が高まる中で、これらのテーマに関する顔身体学での研究成果をメディアでの解説、トークイベント、オープンラボ等を通じて広く社会に浸透させることに貢献した。田中はこれら一連の成果を著書として書き上げ、2022年9月に刊行した。

研究成果の概要（英文）：In order to contribute to advances in face-body studies from the viewpoint of communication, Our findings about the developmental processes of cultural differences and their psychological and neural basis from the viewpoint of multisensory integration can be summarized as follows. (1) Japanese participants gradually shift from facial dominance to vocal dominance throughout childhood. (2) A series of experiments clarified the route from audiovisual emotion perception to social behavior. (3) fMRI experiments on adult immigrants revealed that they become more face-dominant during cross-cultural readaptation process, and neural activity changed in multimodal areas.

研究分野：認知心理学

キーワード：顔 身体 感覚間統合 感情 文化差

## 1. 研究開始当初の背景

顔はその人物が「誰であるか」(性別、年齢、人物)のみならず、「どのような気持ちであるか」(感情、態度、意図)、「何を言っているか」(音韻情報)など、さまざまな情報を伝える。身体も顔と同様、多様な情報を伝えている。さまざまな文化的背景をもつ人々のグローバルな交流がますます加速する現代社会において、円滑なコミュニケーションや社会的行動を実現するためには、異なる文化的背景をもつ他者の感情表現を適切に知覚すること(感情知覚)が重要となる。そのためには、感情の表出と知覚を媒介する顔と身体表現の普遍性と文化特異性を知ることが不可欠である。

コミュニケーション場面では、他者の顔や身体表現(視覚情報)のみならず、声(聴覚情報)も利用される。これらの情報源は独立に機能しているわけではなく、さまざまな形で相互作用(感覚間統合)が生じる。研究代表者らは、感情知覚においても感覚間統合が本質的な役割を果たしていると考え、顔と声による感情知覚(視聴覚感情知覚)の研究を精力的に進めてきた。文化間比較研究の結果、欧米人(主な研究対象はオランダ人)は顔への依存性が高いのに対し、日本人は声への依存性が高いことが明らかとなった。この結果は、他者の感情を知覚するとき、文化的背景が感覚間統合に影響を与えることを示しており、国内外の研究者やメディアの注目を浴びた。その後、文化間比較研究のための大規模データベースを開発して精力的に実験を推進し、視聴覚感情知覚の基本的な特性についての理解が一挙に進んだ。

顔・身体・声の認識に関する研究からは、いくつかの側面で文化的多様性が報告されている。表情認知の社会心理学的研究からは、日本人は目元、アメリカ人は口元により着目することが報告されている。発話認知の文化心理学的研究からは、日本語母語者はパラ言語情報(声の調子)、英語母語者は言語情報に重きを置くことが報告されている。そして視聴覚音声の知覚心理学的研究からは、日本語母語者は発話(聴覚)を知覚する際に話者の口の動き(視覚)による影響が小さいことが報告されている。

これらの現象はまったく異なる研究分野で別々に報告されたものであるが、いずれも同一感覚内(目 vs 口(視覚)、言語 vs パラ言語(聴覚))、もしくは感覚間(口の動き(視覚) vs 発話(聴覚))の複数情報を統合するという点に共通性を指摘することができる。

## 2. 研究の目的

上記の背景を踏まえ、本研究班では顔・身体・声の認識様式の文化的多様性の根源として、感覚間統合を中心とした「情報統合」に着目する。そして、幼児期から成人にかけて感情知覚における複数情報統合の様式がどのように変化するのかを比較文化的に検討し、これらの知見を統一的に説明する理論的枠組みの提唱をめざす。本研究班では、言語・非言語コミュニケーションの基礎となりうる視覚と聴覚の感覚間統合の視点から「顔身体学」の学術領域に寄与するため、言葉の通じない同士の日蘭の国際共同研究から出発し、顔・身体・声からの感情知覚の文化差とその形成過程について検討する。

## 3. 研究の方法

研究1では、感情知覚における複数情報統合の発達過程の文化間比較を実施する。感情知覚はどのような認知機能と関連しながら発達し、文化差が生まれるのかを明らかにする。具体的には、幼児(5歳)から成人にかけての参加者を対象に、顔と声の認識に関する多様な認知課題を実施し、それぞれの課題での発達曲線の比較、および課題間相関解析の結果をもとに、複数情報統合の発達のタイムコースを明らかにする。同様の実験を日本および欧州(オランダ)で実施することで、発達機序の通文化性と文化依存性を明らかにする。また文化間での比較は、実験参加者が西洋文化圏 vs 東洋文化圏という視点に加えて内集団 vs 外集団という視点からの解析も実施する。

研究2では、他者の感情を知覚した結果、自身の中にどのような感情が喚起され、どのような社会的行動につながるのかを検討する。知覚はそれだけで完結するものではなく、知覚した情報によって自身の中に感情が生起し、社会的行動へとつながっていく。このとき、同一の他者が発した感情表現の受け取り方(知覚)に文化差があるのであれば、それに応じて観察者自身に喚起される感情や、相手に対する社会的行動にも文化差が生じる可能性を指摘できる。このように、感情の知覚を起点として生じる一連の心理・行動をシステムとして捉えることで、知覚の文化差を日常生活のごく一部分に限定された現象ではなく、人間の社会活動に本質的な影響を与える現象として位置づける。このような図式から、知覚が行動を規定し、行動が文化を生み出し、そして文化がまた知覚を形成するという循環的構造を紐解いていく。多感覚感情知覚と感情生起

の関連については、顔と声で感情知覚と感情生起の関係が異なる可能性を筋電と SCR を用いて検証する。多感覚感情知覚と社会的行動の関連については、日欧の成人を対象に独裁者ゲームを実施することで検討する。

研究 3 では、成人移民における異文化再適応過程について検討する。言語獲得においては臨界期の存在がよく知られており、一定年齢を超えると、異なる言語環境に移住しても獲得できる言語能力には限界が生じてしまう。では、ある文化において適応的なふるまいを可能とする情報処理様式の獲得、いわば「文化獲得」にも臨界期はあるのだろうか。研究 3 では、欧米から日本への移住者を対象とした fMRI 研究を実施し、成人移民における感覚間統合の異文化再適応過程を明らかにする。実験では顔と声による感情表現を呈示し、行動データと fMRI データをもとに異文化再適応過程とそれを支える神経基盤を明らかにする。

#### 4 . 研究成果

主として感覚間統合の視点から、顔と身体の文化差の形成過程とその基盤について以下のことを明らかにした。(1) オランダ人では一貫して相手の顔を優先させて感情を読み取る「顔優位」であるのに対し、日本人では顔優位から児童期を通して徐々に声優位にシフトすることを発見した。これは本研究班の最大の成果である。また、見た目がコーカソイドで日本語を話す相手には声優位で感情を知覚しており、トランスカルチャー状況における「境界」とは見た目ではなく、言語によって作られる側面があることを明らかにした。(2) 感情の知覚を起点として生じる一連の心理・行動をシステムとして捉え、視聴覚感情知覚から社会的行動へとつながる道筋について検討した。感情知覚と感情喚起の関連を示す「表情模倣」には、顔の部位によって、他者の運動の純粋な模倣が生じる部位と、他者の表情に対する評価と関連する部位があることを示した。また、独裁者ゲーム実験から、相手の感情知覚と利他的行動に用いられる手がかりは同一ではないことが示唆された。(3) トランスカルチャーの一例である成人移民を対象に fMRI (機能的磁気共鳴画像法) 実験を実施し、移住による異文化再適応によって顔の影響を受けやすくなり、視聴覚統合領域の活動パターンが変化することを明らかにした。(4) 身体動作からの感情知覚は顔や声よりも発達的に後の段階で優位になること、ポジティブ感情はタッチから伝わりやすいことなど、それぞれのチャンネルがもつ特性とその文化差を明らかにした。身体拡張場面における適応的变化についても検討し、VR 環境では対象のサイズについて約 5%の過小評価が生じること、および触覚フィードバックの重要性を明らかにした。また、身体の重さが実際に変化した場合には、目的達成のために軌道を高くした運動制御戦略が用いられることを示した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計48件（うち査読付論文 30件 / うち国際共著 7件 / うちオープンアクセス 21件）

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>Yamamoto, H. W., Kawahara, M., Kret, M. E., & Tanaka, A.  | 4. 巻<br>11(2)       |
| 2. 論文標題<br>Cultural differences in emoticon perception: Japanese see the eyes and Dutch the mouth of emoticons. | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>Letters on Evolutionary Behavioral Science  | 6. 最初と最後の頁<br>40-45 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし  | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>該当する        |

|  |                        |
|--|------------------------|
| 1. 著者名<br>Yamamoto, H. W., Kawahara, M., & Tanaka, A.  | 4. 巻<br>15(6)          |
| 2. 論文標題<br>Audiovisual emotion perception develops differently from audiovisual phoneme perception during childhood. | 5. 発行年<br>2020年        |
| 3. 雑誌名<br>PLoS ONE   | 6. 最初と最後の頁<br>e0234553 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし   | 査読の有無<br>有             |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-              |

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>Tanaka, A., Takagi, S., Harada, T., Huis In't Veld, E., de Gelder, B., Hamano, Y., Tabei, K., Sadato, N. | 4. 巻<br>-       |
| 2. 論文標題<br>Culture influences audiovisual emotion perception in early sensory areas.                               | 5. 発行年<br>2020年 |
| 3. 雑誌名<br>bioRxiv  | 6. 最初と最後の頁<br>- |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1101/2020.10.10.332437  | 査読の有無<br>無      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）  | 国際共著<br>該当する    |

|  |                   |
|--|-------------------|
| 1. 著者名<br>大屋里佳・田中章浩                    | 4. 巻<br>120(169)  |
| 2. 論文標題<br>感情知覚における聴触覚の多感覚相互作用         | 5. 発行年<br>2020年   |
| 3. 雑誌名<br>電子情報通信学会技術研究報告               | 6. 最初と最後の頁<br>1-6 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-         |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>河原美彩子・林隆介・田中章浩               | 4. 巻<br>120(169)    |
| 2. 論文標題<br>顔のテクスチャ情報が表情認知に与える影響        | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>電子情報通信学会技術研究報告               | 6. 最初と最後の頁<br>13-18 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>Nakamura, A., & Tanaka, A.   | 4. 巻<br>-       |
| 2. 論文標題<br>Subclinical depression inhibits the sense of agency at the sensorimotor level | 5. 発行年<br>2021年 |
| 3. 雑誌名<br>PsyArXiv   | 6. 最初と最後の頁<br>- |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.31234/osf.io/e7qru.                                       | 査読の有無<br>無      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)  | 国際共著<br>-       |

|  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名<br>Kawahara, M., Sauter, D. A., & Tanaka, A.  | 4. 巻<br>35(6)           |
| 2. 論文標題<br>Culture shapes emotion perception from faces and voices: changes over development | 5. 発行年<br>2021年         |
| 3. 雑誌名<br>Cognition and Emotion  | 6. 最初と最後の頁<br>1175-1186 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1080/02699931.2021.1922361                                    | 査読の有無<br>有              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)  | 国際共著<br>該当する            |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>河原美彩子・澤田佳子・田中章浩                                  | 4. 巻<br>20(3)         |
| 2. 論文標題<br>ヒューマノイドロボットに対する人間の多感覚的な感情認知                     | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>日本感性工学会論文誌                                       | 6. 最初と最後の頁<br>329-335 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.5057/jjske.TJSKE-D-21-00015 | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)                      | 国際共著<br>-             |

|   |                 |
|---|-----------------|
| 1. 著者名<br>Oya, R. & Tanaka, A.  | 4. 巻<br>-       |
| 2. 論文標題<br>Cross-cultural similarity and cultural specificity in the emotion perception from touch.<br>Emotion. | 5. 発行年<br>2022年 |
| 3. 雑誌名<br>Emotion   | 6. 最初と最後の頁<br>- |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1037/emo0001086  | 査読の有無<br>有      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)  | 国際共著<br>-       |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>Yamamoto, H.W., Kawahara, M., Tanaka, A.   | 4. 巻<br>2019年8月     |
| 2. 論文標題<br>The development of eye gaze patterns during audiovisual perception of affective and phonetic information. | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>The 15th International Conference on Auditory-Visual Speech Processing. Melbourne, Australia.              | 6. 最初と最後の頁<br>27-32 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.21437/AVSP.2019-6   | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>大屋里佳・田中章浩                    | 4. 巻<br>HIP2019-44  |
| 2. 論文標題<br>タッチと声による感情知覚                | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>電子情報通信学会技術研究報告               | 6. 最初と最後の頁<br>53-58 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>河原美彩子・田中章浩                   | 4. 巻<br>HIP2019-34 |
| 2. 論文標題<br>顔と声による感情表出様式の文化差の検討         | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>電子情報通信学会技術研究報告               | 6. 最初と最後の頁<br>1-6  |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>吉原将大・山本寿子・河原美彩子・田中章浩         | 4. 巻<br>HIP2019-35 |
| 2. 論文標題<br>視覚情報の劣化が情動知覚および音韻知覚に及ぼす影響   | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>電子情報通信学会技術研究報告               | 6. 最初と最後の頁<br>7-12 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Yamamoto, H. W., Kawahara, M. & Tanaka, A.  | 4. 巻<br>40            |
| 2. 論文標題<br>Japanese children's audiovisual emotion perception and its relation to their sensitivity to pitch-accentual pattern. | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>Acoustical Science and Technology   | 6. 最初と最後の頁<br>410-412 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1250/ast.40.410  | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)  | 国際共著<br>-             |

|  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名<br>Kawahara Misako, Yamamoto Hisako W., Tanaka Akihiro  | 4. 巻<br>40              |
| 2. 論文標題<br>Language or appearance? The trigger of the in-group effect in multisensory emotion perception | 5. 発行年<br>2019年         |
| 3. 雑誌名<br>Acoustical Science and Technology  | 6. 最初と最後の頁<br>360 ~ 363 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1250/ast.40.360   | 査読の有無<br>有              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-               |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>Yamamoto, H. W., & Haryu, E.  | 4. 巻<br>99          |
| 2. 論文標題<br>The role of pitch pattern in Japanese 24-month-olds' word recognition. | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>Journal of Memory and Language  | 6. 最初と最後の頁<br>90-98 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし  | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-           |

|   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名<br>田中章浩  | 4. 巻<br>11月号            |
| 2. 論文標題<br>感覚器とコミュニケーション                                  | 5. 発行年<br>2018年         |
| 3. 雑誌名<br>日本薬学会会報「ファルマシア」                                 | 6. 最初と最後の頁<br>1040-1044 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.14894/faruawpsj.54.11_1040 | 査読の有無<br>無              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                    | 国際共著<br>-               |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>大屋里佳, 田中章浩                   | 4. 巻<br>HIP2018-42  |
| 2. 論文標題<br>触覚による情動知覚プロセスの検討            | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>電子情報通信学会技術研究報告               | 6. 最初と最後の頁<br>17-22 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>Yamamoto, H. W., Kawahara, M. & Tanaka, A.                                      | 4. 巻<br>HIP2018-53  |
| 2. 論文標題<br>Children's eye gaze pattern during audiovisual emotion and phoneme perception. | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>電子情報通信学会技術研究報告  | 6. 最初と最後の頁<br>61-64 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし  | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>田中章浩                         | 4. 巻<br>72-1        |
| 2. 論文標題<br>クロスモーダルな情動知覚                | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>映像情報メディア学会誌                  | 6. 最初と最後の頁<br>10-14 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |



|   |                   |
|---|-------------------|
| 1. 著者名<br>Kawase, M., Adachi, I & Tanaka, A.  | 4. 巻<br>D2. S5.-3 |
| 2. 論文標題<br>Multisensory perception of emotion for human and chimpanzee expressions by humans.   | 5. 発行年<br>2017年   |
| 3. 雑誌名<br>Proceedings of the International Conference on Auditory-Visual Speech Processing 2017 | 6. 最初と最後の頁<br>1-4 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし  | 査読の有無<br>有        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-         |

|   |                   |
|---|-------------------|
| 1. 著者名<br>Kawahara, M., Sauter, D. & Tanaka, A.   | 4. 巻<br>D2. S5.-2 |
| 2. 論文標題<br>Impact of culture on the development of multisensory emotion perception.             | 5. 発行年<br>2017年   |
| 3. 雑誌名<br>Proceedings of the International Conference on Auditory-Visual Speech Processing 2017 | 6. 最初と最後の頁<br>1-6 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし  | 査読の有無<br>有        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>該当する      |

|   |                   |
|---|-------------------|
| 1. 著者名<br>Yamamoto, H. W., Kawahara, M. & Tanaka, A.  | 4. 巻<br>D2. S5.-1 |
| 2. 論文標題<br>The developmental path of multisensory perception of emotion and phoneme in Japanese speakers. | 5. 発行年<br>2017年   |
| 3. 雑誌名<br>Proceedings of the International Conference on Auditory-Visual Speech Processing 2017           | 6. 最初と最後の頁<br>1-4 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし  | 査読の有無<br>有        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-         |

|   |                 |
|---|-----------------|
| 1. 著者名<br>Diana, F., Kawahara, M., Saccardi, I., Horstadius, R., Tanaka, A., & Kret, M.E.           | 4. 巻<br>-       |
| 2. 論文標題<br>A Cross-Cultural Comparison on Implicit and Explicit Attitudes Towards Artificial Agents | 5. 発行年<br>2022年 |
| 3. 雑誌名<br>International Journal of Social Robotics  | 6. 最初と最後の頁<br>- |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1007/s12369-022-00917-7  | 査読の有無<br>有      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)  | 国際共著<br>該当する    |

|  |                        |
|--|------------------------|
| 1. 著者名<br>Oya, R., & Tanaka, A.  | 4. 巻<br>43             |
| 2. 論文標題<br>The interaction of emotional information from the voice and touch | 5. 発行年<br>2022年        |
| 3. 雑誌名<br>Acoustical Science and Technology                                  | 6. 最初と最後の頁<br>291, 293 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし   | 査読の有無<br>有             |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                       | 国際共著<br>-              |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>Oya Rika, Tanaka Akihiro  | 4. 巻<br>14(2)       |
| 2. 論文標題<br>Touch and voice have different advantages in perceiving positive and negative emotions | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>i-Perception  | 6. 最初と最後の頁<br>1, 12 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1177/20416695231160420   | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)  | 国際共著<br>-           |

|  |                           |
|--|---------------------------|
| 1. 著者名<br>Ando Luna, Itaguchi Yoshihiro  | 4. 巻<br>240               |
| 2. 論文標題<br>The heavier the arm, the higher the action: the effects of forearm-weight changes on reach-to-grasp movements | 5. 発行年<br>2022年           |
| 3. 雑誌名<br>Experimental Brain Research  | 6. 最初と最後の頁<br>1515 ~ 1528 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1007/s00221-022-06350-6   | 査読の有無<br>有                |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-                 |

|  |                      |
|--|----------------------|
| 1. 著者名<br>Itaguchi Yoshihiro, Castro-Chavira Susana A., Waterloo Knut, Johnsen Stein Harald, Rodriguez-Aranda Claudia  | 4. 巻<br>13           |
| 2. 論文標題<br>Evaluation of Error Production in Animal Fluency and Its Relationship to Frontal Tracts in Normal Aging and Mild Alzheimer's Disease: A Combined LDA and Time-Course Analysis Investigation | 5. 発行年<br>2022年      |
| 3. 雑誌名<br>Frontiers in Aging Neuroscience  | 6. 最初と最後の頁<br>710938 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.3389/fnagi.2021.710938  | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>該当する         |

|  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名<br>Daimon Shotaro, Noto Shiori, Itaguchi Yoshihiro  | 4. 巻<br>41              |
| 2. 論文標題<br>Quantitative Analyses on the Performance of Repeated Verbal Fluency Tests Using Time and Word Frequency Information | 5. 発行年<br>2021年         |
| 3. 雑誌名<br>Higher Brain Function Research   | 6. 最初と最後の頁<br>387 ~ 396 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.2496/hbfr.41.387  | 査読の有無<br>有              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-               |

|  |                      |
|--|----------------------|
| 1. 著者名<br>Itaguchi Yoshihiro   | 4. 巻<br>2            |
| 2. 論文標題<br>Size Perception Bias and Reach-to-Grasp Kinematics: An Exploratory Study on the Virtual Hand With a Consumer Immersive Virtual-Reality Device | 5. 発行年<br>2021年      |
| 3. 雑誌名<br>Frontiers in Virtual Reality   | 6. 最初と最後の頁<br>712378 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.3389/frvir.2021.712378  | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-            |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Itaguchi Yoshihiro, Suzuki Yuhō, Yamada Chiharu, Fukuzawa Kazuyoshi  | 4. 巻<br>27            |
| 2. 論文標題<br>Visual feedback of finger writing in a patient with sensory aphasia: a case report and theoretical considerations | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>Neurocase  | 6. 最初と最後の頁<br>12 ~ 17 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1080/13554794.2020.1858111  | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-             |

|  |                           |
|--|---------------------------|
| 1. 著者名<br>Itaguchi Yoshihiro   | 4. 巻<br>123               |
| 2. 論文標題<br>Toward natural grasping with a tool: effects of practice and required accuracy on the kinematics of tool-use grasping | 5. 発行年<br>2020年           |
| 3. 雑誌名<br>Journal of Neurophysiology   | 6. 最初と最後の頁<br>2024 ~ 2036 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1152/jn.00384.2019  | 査読の有無<br>有                |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-                 |

|   |                    |
|---|--------------------|
| 1. 著者名<br>Sawada Yuki, Itaguchi Yoshihiro, Hayashi Masami, Aigo Kosuke, Miyagi Takuya, Miki Masayuki, Kimura Tetsuya, Miyazaki Makoto | 4. 巻<br>10         |
| 2. 論文標題<br>Effects of synchronised engine sound and vibration presentation on visually induced motion sickness                        | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>Scientific Reports  | 6. 最初と最後の頁<br>7553 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1038/s41598-020-64302-y  | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)  | 国際共著<br>-          |

|   |                        |
|---|------------------------|
| 1. 著者名<br>Itaguchi Yoshihiro, Yamada Chiharu, Fukuzawa Kazuyoshi                      | 4. 巻<br>14             |
| 2. 論文標題<br>Writing in the air: Facilitative effects of finger writing in older adults | 5. 発行年<br>2019年        |
| 3. 雑誌名<br>PLOS ONE  | 6. 最初と最後の頁<br>e0226832 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1371/journal.pone.0226832                              | 査読の有無<br>有             |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)  | 国際共著<br>-              |

|   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名<br>Itaguchi Yoshihiro, Mori Mayuko, Uchiyama Yumiko, Yoshizawa Hiroshi, Koike Yasuharu, Fukuzawa Kazuyoshi | 4. 巻<br>39(4)           |
| 2. 論文標題<br>Quantitative Evaluation of Writing Disorder : Spatiotemporal Analysis Using A Tablet Device            | 5. 発行年<br>2019年         |
| 3. 雑誌名<br>Higher Brain Function Research  | 6. 最初と最後の頁<br>436 ~ 443 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.2496/hbfr.39.436   | 査読の有無<br>有              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)  | 国際共著<br>-               |

|  |                        |
|--|------------------------|
| 1. 著者名<br>Yamada Chiharu, Itaguchi Yoshihiro, Fukuzawa Kazuyoshi   | 4. 巻<br>14(4)          |
| 2. 論文標題<br>Effects of the amount of practice and time interval between practice sessions on the retention of internal models | 5. 発行年<br>2019年        |
| 3. 雑誌名<br>PLOS ONE   | 6. 最初と最後の頁<br>e0215331 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1371/journal.pone.0215331   | 査読の有無<br>有             |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-              |

|  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名<br>Itaguchi Yoshihiro, Fukuzawa Kazuyoshi   | 4. 巻<br>237(1)          |
| 2. 論文標題<br>Adaptive changes in automatic motor responses based on acquired visuomotor correspondence | 5. 発行年<br>2018年         |
| 3. 雑誌名<br>Experimental Brain Research  | 6. 最初と最後の頁<br>147 ~ 159 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1007/s00221-018-5409-x  | 査読の有無<br>有              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-               |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>板口 典弘  | 4. 巻<br>24(1)       |
| 2. 論文標題<br>神経心理学と統計 統計的仮説検定における効果量と検出力の問題              | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>認知リハビリテーション                                  | 6. 最初と最後の頁<br>2 ~ 9 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.50970/cogrehab.2019.001 | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                 | 国際共著<br>-           |

|   |                   |
|---|-------------------|
| 1. 著者名<br>Ebato T., Muramatsu H., Itaguchi Y., Yokota E., Yoshizawa H., Fukuzawa K., and Katsura S. | 4. 巻<br>TT5-5     |
| 2. 論文標題<br>Hybrid Practice Scheduling of Motor Learning with Upper-Limb Rehabilitation Robot        | 5. 発行年<br>2019年   |
| 3. 雑誌名<br>SAMCON2019  | 6. 最初と最後の頁<br>1-6 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし  | 査読の有無<br>無        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-         |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>松村朋花・板口典弘                    | 4. 巻<br>119(167)    |
| 2. 論文標題<br>VR環境における到達把持運動の運動学的解析       | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>電子情報通信学会技術研究報告               | 6. 最初と最後の頁<br>63-67 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>Kamiloglu Roza G., Tanaka Akihiro, Scott Sophie K., Sauter Disa A.       | 4. 巻<br>377     |
| 2. 論文標題<br>Perception of group membership from spontaneous and volitional laughter | 5. 発行年<br>2021年 |
| 3. 雑誌名<br>Philosophical Transactions of the Royal Society B: Biological Sciences   | 6. 最初と最後の頁<br>- |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1098/rstb.2020.0404                                 | 査読の有無<br>有      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>該当する    |

|   |                      |
|---|----------------------|
| 1. 著者名<br>Yamamoto Hisako W., Kawahara Misako, Tanaka Akihiro   | 4. 巻<br>12           |
| 2. 論文標題<br>A Web-Based Auditory and Visual Emotion Perception Task Experiment With Children and a Comparison of Lab Data and Web Data | 5. 発行年<br>2021年      |
| 3. 雑誌名<br>Frontiers in Psychology   | 6. 最初と最後の頁<br>702106 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.3389/fpsyg.2021.702106   | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)  | 国際共著<br>-            |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Mori Yuichi, Noguchi Yasuki, Tanaka Akihiro, Ishii Keiko                     | 4. 巻<br>10            |
| 2. 論文標題<br>Neural responses to facial and vocal displays of emotion in Japanese people | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>Culture and Brain  | 6. 最初と最後の頁<br>43 ~ 55 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1007/s40167-021-00101-0                                 | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-             |

|   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名<br>Mori Kazuma, Tanaka Akihiro, Kawabata Hideaki, Arao Hiroshi   | 4. 巻<br>32(10)          |
| 2. 論文標題<br>The N400 and late occipital positivity in processing dynamic facial expressions with natural emotional voice | 5. 発行年<br>2021年         |
| 3. 雑誌名<br>NeuroReport   | 6. 最初と最後の頁<br>858 ~ 863 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1097/WNR.0000000000001669  | 査読の有無<br>有              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>-               |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>田中章浩・清水大地・小手川正二郎             | 4. 巻<br>75(5)         |
| 2. 論文標題<br>顔・身体表現から探るトランスカルチャー         | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>映像情報メディア学会誌                  | 6. 最初と最後の頁<br>614-620 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>中村杏奈・田中章浩                                 | 4. 巻<br>121(177)    |
| 2. 論文標題<br>目と口で異なる感情を示す表情に対する顔筋電反応～運動模倣仮説と評価理論への示唆～ | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>電子情報通信学会技術研究報告                            | 6. 最初と最後の頁<br>11-16 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                      | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難              | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>中川優奈・田中章浩                    | 4. 巻<br>121(177)    |
| 2. 論文標題<br>自分と他人の声の境界は変化するか            | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>電子情報通信学会技術研究報告               | 6. 最初と最後の頁<br>25-30 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>大寺輝・田中章浩                     | 4. 巻<br>120(169)    |
| 2. 論文標題<br>感情が時間知覚に与える影響               | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>電子情報通信学会技術研究報告               | 6. 最初と最後の頁<br>19-24 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

〔学会発表〕 計59件（うち招待講演 2件 / うち国際学会 6件）

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>大屋里佳, 田中章浩           |
| 2. 発表標題<br>「感情が伝わりやすいタッチ」の演繹的検証 |
| 3. 学会等名<br>日本認知科学会第38回大会        |
| 4. 発表年<br>2021年                 |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>山本寿子、河原美彩子、田中章浩   |
| 2. 発表標題<br>子ども対象の知覚研究におけるオンライン実験と実験室実験の比較 “コロナ禍”での新しい認知発達研究のかたちを目指して |
| 3. 学会等名<br>日本発達心理学会第32回大会  |
| 4. 発表年<br>2021年  |

|                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>大屋里佳, 田中章浩               |
| 2. 発表標題<br>触覚感情表出の文化内共通性と参加者間個別性の検討 |
| 3. 学会等名<br>日本認知心理学会第18回大会           |
| 4. 発表年<br>2021年                     |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>中村杏奈, 田中章浩                   |
| 2. 発表標題<br>Intentional Binding課題のオンライン化 |
| 3. 学会等名<br>日本認知心理学会第18回大会               |
| 4. 発表年<br>2021年                         |



|                          |
|--------------------------|
| 1. 発表者名<br>大屋里佳・田中章浩     |
| 2. 発表標題<br>タッチや音声による感情知覚 |
| 3. 学会等名<br>第12回多感覚研究会    |
| 4. 発表年<br>2021年          |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>中川優奈・田中章浩                        |
| 2. 発表標題<br>自己の発話に対する他人声のフィードバックが声の所有感に与える影響 |
| 3. 学会等名<br>日本音響学会2021年秋季研究発表会               |
| 4. 発表年<br>2021年                             |

|                            |
|----------------------------|
| 1. 発表者名<br>大寺輝・田中章浩        |
| 2. 発表標題<br>懐かしさが時間評価に与える影響 |
| 3. 学会等名<br>日本認知心理学会第18回大会  |
| 4. 発表年<br>2021年            |

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>大寺輝・田中章浩             |
| 2. 発表標題<br>懐かしさが時間知覚に与える影響      |
| 3. 学会等名<br>電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会 |
| 4. 発表年<br>2020年                 |

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>大屋里佳・田中章浩            |
| 2. 発表標題<br>感情知覚における聴触覚の多感覚相互作用  |
| 3. 学会等名<br>電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会 |
| 4. 発表年<br>2020年                 |

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>河原美彩子・林隆介・田中章浩       |
| 2. 発表標題<br>顔のテクスチャ情報が表情認知に与える影響 |
| 3. 学会等名<br>電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会 |
| 4. 発表年<br>2020年                 |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Oya, R. & Tanaka, A.   |
| 2. 発表標題<br>Touch cannot be perceived accurately at categorical level but can be perceived sufficiently at quadrant level. |
| 3. 学会等名<br>31st Association for Psychological Science Annual Convention (国際学会)  |
| 4. 発表年<br>2019年   |

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>大寺輝・田中章浩             |
| 2. 発表標題<br>聴覚刺激と嗅覚刺激が懐かしさに与える影響 |
| 3. 学会等名<br>日本認知心理学会第17回大会       |
| 4. 発表年<br>2019年                 |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>田中章浩・澤田佳子・長島太郎・小池貴久             |
| 2. 発表標題<br>ラジオ聴取経験と話者への親近性が音声からの感情知覚に与える影響 |
| 3. 学会等名<br>日本認知心理学会第17回大会                  |
| 4. 発表年<br>2019年                            |

|                                  |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山本寿子・田中章浩             |
| 2. 発表標題<br>赤色と青色が変化の見落とし課題に及ぼす影響 |
| 3. 学会等名<br>日本心理学会第83回大会          |
| 4. 発表年<br>2019年                  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>河原美彩子・山本寿子・田中章浩                 |
| 2. 発表標題<br>多感覚的な感情認知における話者の顔に対する注視パターンの文化差 |
| 3. 学会等名<br>日本心理学会第83回大会                    |
| 4. 発表年<br>2019年                            |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>大寺輝・田中章浩                             |
| 2. 発表標題<br>聴覚刺激と嗅覚刺激が懐かしさに与える影響 自伝的記憶との関係性に着目して |
| 3. 学会等名<br>日本基礎心理学会第38回大会                       |
| 4. 発表年<br>2019年                                 |

|                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>大屋里佳・田中章浩              |
| 2. 発表標題<br>感情知覚において触覚と聴覚のどちらが優位か？ |
| 3. 学会等名<br>日本基礎心理学会第38回大会         |
| 4. 発表年<br>2019年                   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Tanaka, A., Kawahara, M., & Sauter, D.   |
| 2. 発表標題<br>Development of cultural differences in emotion perception from faces and voices. |
| 3. 学会等名<br>IMRF2018 (国際学会)  |
| 4. 発表年<br>2018年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Kawahara, M., Yamamoto, H.W., & Tanaka, A.  |
| 2. 発表標題<br>Language, but not race induces vocal superiority in audiovisual emotion perception. |
| 3. 学会等名<br>IMRF2018 (国際学会)   |
| 4. 発表年<br>2018年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>河原美彩子, 山本寿子, 田中章浩                          |
| 2. 発表標題<br>多感覚情動認知における内集団声優位性を決定する要因 - 話者の見た目か？言語か？ - |
| 3. 学会等名<br>日本心理学会・第82回大会                              |
| 4. 発表年<br>2018年                                       |

|                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山本寿子, 河原美彩子, 田中章浩        |
| 2. 発表標題<br>多感覚知覚における顔への注視パターンの発達的变化 |
| 3. 学会等名<br>日本心理学会第82回大会             |
| 4. 発表年<br>2018年                     |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>大屋里佳, 田中章浩                   |
| 2. 発表標題<br>日本人の触覚による情動知覚                |
| 3. 学会等名<br>日本認知科学会第35回大会・日本認知心理学会第16回大会 |
| 4. 発表年<br>2018年                         |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>河原美彩子, 澤田佳子, 田中章浩            |
| 2. 発表標題<br>ヒューマノイドロボットに対する感情認知と社会行動     |
| 3. 学会等名<br>日本認知科学会第35回大会・日本認知心理学会第16回大会 |
| 4. 発表年<br>2018年                         |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>山本寿子, 河原美彩子, 田中章浩            |
| 2. 発表標題<br>顔と声を用いる感情知覚と音韻知覚のプロセスは共通か独立か |
| 3. 学会等名<br>日本認知科学会第35回大会・日本認知心理学会第16回大会 |
| 4. 発表年<br>2018年                         |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>田中章浩   |
| 2. 発表標題<br>Cultural differences and its neural basis in emotion perception from faces and voices. |
| 3. 学会等名<br>第41回日本神経科学大会シンポジウム「個性と身体表現の創発に関わる神経機構」(招待講演)(国際学会)                                     |
| 4. 発表年<br>2018年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>田中章浩   |
| 2. 発表標題<br>An experimental study on individual and cultural differences in the sense of agency. |
| 3. 学会等名<br>シヨーン・ギャラガー招聘シンポジウム「匿名の視線と自己の成立」(招待講演)(国際学会)  |
| 4. 発表年<br>2018年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>澤田佳子                                      |
| 2. 発表標題<br>ラジオの聴取経験が音声から感情知覚に与える影響                   |
| 3. 学会等名<br>第9回 Society for Tokyo Young Psychologists |
| 4. 発表年<br>2018年                                      |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>大屋里佳, 田中章浩                                |
| 2. 発表標題<br>触覚による感情表現                                 |
| 3. 学会等名<br>第9回 Society for Tokyo Young Psychologists |
| 4. 発表年<br>2018年                                      |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>河原美彩子・山本寿子・田中章浩                           |
| 2. 発表標題<br>多感覚的な感情認知における注視パターンの文化差                   |
| 3. 学会等名<br>第9回 Society for Tokyo Young Psychologists |
| 4. 発表年<br>2018年                                      |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>山本寿子・河原美彩子・吉原将大・田中章浩                      |
| 2. 発表標題<br>成人期における多感覚感情知覚を規定する諸要因の検討                 |
| 3. 学会等名<br>第9回 Society for Tokyo Young Psychologists |
| 4. 発表年<br>2018年                                      |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>川瀬茉里奈, 田中章浩   |
| 2. 発表標題<br>Does raising experience facilitate multisensory emotion perception of dogs in humans? |
| 3. 学会等名<br>第10回多感覚研究会  |
| 4. 発表年<br>2018年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>川瀬茉里奈, 田中章浩                  |
| 2. 発表標題<br>人物同定は顔と声の感情一致性によって阻害される      |
| 3. 学会等名<br>日本認知科学会第35回大会・日本認知心理学会第16回大会 |
| 4. 発表年<br>2018年                         |

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>大屋里佳, 田中章浩           |
| 2. 発表標題<br>触覚による情動知覚プロセスの検討     |
| 3. 学会等名<br>電気情報通信学会ヒューマン情報処理研究会 |
| 4. 発表年<br>2018年                 |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Marina Kawase · Akihiro Tanaka · Ayaka Takimoto                                       |
| 2. 発表標題<br>Does raising experience facilitate multisensory emotion perception of dogs in humans? |
| 3. 学会等名<br>第78回日本動物心理学会大会  |
| 4. 発表年<br>2018年  |

|                                    |
|------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>河原美彩子, 山本寿子, 田中章浩       |
| 2. 発表標題<br>多感覚情動認知における親子の認知パターンの関連 |
| 3. 学会等名<br>発達心理学会第29回大会            |
| 4. 発表年<br>2018年                    |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>山本寿子, 河原美彩子, 田中章浩                         |
| 2. 発表標題<br>情動と音韻の視聴覚統合プロセスは独立か                       |
| 3. 学会等名<br>第8回 Society for Tokyo Young Psychologists |
| 4. 発表年<br>2018年                                      |



|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>平山沙絵, 田中章浩                                |
| 2. 発表標題<br>演劇経験と共感性が表情認知と表情模倣に与える影響                  |
| 3. 学会等名<br>第8回 Society for Tokyo Young Psychologists |
| 4. 発表年<br>2018年                                      |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>河原美彩子, 山本寿子, 田中章浩                         |
| 2. 発表標題<br>顔と声からの情動認知における母子の認知パターンの関連                |
| 3. 学会等名<br>第8回 Society for Tokyo Young Psychologists |
| 4. 発表年<br>2018年                                      |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>大屋里佳, 田中章浩                                |
| 2. 発表標題<br>触覚による情動知覚                                 |
| 3. 学会等名<br>第8回 Society for Tokyo Young Psychologists |
| 4. 発表年<br>2018年                                      |

|                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山本寿子                     |
| 2. 発表標題<br>情動と音韻の視聴覚統合プロセスは独立か      |
| 3. 学会等名<br>第3回心理班若手勉強会 (中大人文研研究会共催) |
| 4. 発表年<br>2018年                     |

|                                    |
|------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山本寿子, 河原美彩子, 田中章浩       |
| 2. 発表標題<br>情動知覚と音韻知覚の視聴覚統合プロセスは独立か |
| 3. 学会等名<br>日本認知科学会 知覚と行動モデリング研究分科会 |
| 4. 発表年<br>2018年                    |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>河原美彩子, 澤田佳子, 田中章浩   |
| 2. 発表標題<br>人間とロボットの感情コミュニケーション |
| 3. 学会等名<br>平成30年度共同プロジェクト研究発表会 |
| 4. 発表年<br>2018年                |

|                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>川瀬茉里奈, 足立幾磨, 田中章浩          |
| 2. 発表標題<br>ヒトにおけるチンパンジーの情動表現に対する多感覚知覚 |
| 3. 学会等名<br>第9回多感覚研究会                  |
| 4. 発表年<br>2017年                       |

|                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山本寿子, 河原美彩子, 田中章浩        |
| 2. 発表標題<br>情動と音韻の視聴覚統合における発達パターンの比較 |
| 3. 学会等名<br>第9回多感覚研究会                |
| 4. 発表年<br>2017年                     |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>山本寿子, 河原美彩子, 田中章浩                          |
| 2. 発表標題<br>養育経験の有無が多感覚知覚に及ぼす影響 顔と声 による情動判断と音声知覚を用いた検討 |
| 3. 学会等名<br>日本心理学会第81回大会                               |
| 4. 発表年<br>2017年                                       |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>川瀬茉里奈, 足立幾磨, 田中章浩               |
| 2. 発表標題<br>ヒトにおけるチンパンジーの感情に対する多感覚認知        |
| 3. 学会等名<br>KODOU2017 (日本動物行動関連学会・研究会 合同大会) |
| 4. 発表年<br>2017年                            |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Oya, R., & Tanaka, A.   |
| 2. 発表標題<br>The perception of positive emotion from face, voice, and touch                  |
| 3. 学会等名<br>Conference of the International Society for Research on Emotion (ISRE22) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2022年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>安藤由華・田中章浩                    |
| 2. 発表標題<br>目撃証言における凶器への注目が聴覚情報の記憶に与える影響 |
| 3. 学会等名<br>電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会         |
| 4. 発表年<br>2022年                         |

|                                  |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>山本寿子・田中章浩             |
| 2. 発表標題<br>身体と声色からの視聴覚感情知覚の発達の变化 |
| 3. 学会等名<br>日本心理学会第86回大会          |
| 4. 発表年<br>2022年                  |

|                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>鎌真衣・田中章浩                  |
| 2. 発表標題<br>ラジオ聴取経験が及ぼす音声感情知覚への影響     |
| 3. 学会等名<br>日本音響学会第148回(2022年秋季)研究発表会 |
| 4. 発表年<br>2022年                      |

|                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>大屋里佳・田中章浩                 |
| 2. 発表標題<br>非言語的な発声によるポジティブ感情の表出と知覚   |
| 3. 学会等名<br>日本音響学会第148回(2022年秋季)研究発表会 |
| 4. 発表年<br>2022年                      |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>山本寿子                         |
| 2. 発表標題<br>顔と声から気持ちを読み取る発達 視聴覚を通じた認知の発達 |
| 3. 学会等名<br>第21回感性学研究会                   |
| 4. 発表年<br>2022年                         |

|                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>田中章浩                      |
| 2. 発表標題<br>人間の聴覚認知特性とラジオの可能性         |
| 3. 学会等名<br>総務省主催シンポジウム「ラジオの可能性とその未来」 |
| 4. 発表年<br>2019年                      |

|                                  |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>板口典弘                  |
| 2. 発表標題<br>時間情報を用いた言語表出行為の定量化    |
| 3. 学会等名<br>西大和リハビリテーション病院, オンライン |
| 4. 発表年<br>2022年                  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>板口典弘                             |
| 2. 発表標題<br>PsychoPyを用いた心理物理実験構築入門           |
| 3. 学会等名<br>Motor Control研究会 2022冬期講習, オンライン |
| 4. 発表年<br>2022年                             |

|                          |
|--------------------------|
| 1. 発表者名<br>板口典弘          |
| 2. 発表標題<br>心理学って何それ      |
| 3. 学会等名<br>品川女子学院, オンライン |
| 4. 発表年<br>2020年          |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>板口典弘                |
| 2. 発表標題<br>臨床研究に役立つ統計デザイン      |
| 3. 学会等名<br>十勝リハビリテーションセンター, 帯広 |
| 4. 発表年<br>2020年                |

|                                  |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名<br>板口典弘                  |
| 2. 発表標題<br>リハビリに活かす研究デザイン法       |
| 3. 学会等名<br>北海道医療大学サテライトキャンパス, 札幌 |
| 4. 発表年<br>2020年                  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Itaguchi Y.  |
| 2. 発表標題<br>Finger writing movement and language processing in Kanji-culture individuals |
| 3. 学会等名<br>Symposium Radial Embodied Cognition, East and West, Tokyo                    |
| 4. 発表年<br>2019年   |

〔図書〕 計5件

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>河野 哲也、山口 真美、金沢 創、渡邊 克巳、田中 章浩、床呂 郁哉、高橋 康介 | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>東京大学出版会                                  | 5. 総ページ数<br>464 |
| 3. 書名<br>顔身体学ハンドブック                                |                 |

|                                    |                 |
|------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>山本寿子, 田中章浩, 麦谷綾子 (編著), 他 | 4. 発行年<br>2019年 |
| 2. 出版社<br>コロナ社                     | 5. 総ページ数<br>254 |
| 3. 書名<br>音響サイエンスシリーズ21 『こどもの音声』    |                 |

|                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>田中章浩, 他       | 4. 発行年<br>2018年 |
| 2. 出版社<br>朝倉書店          | 5. 総ページ数<br>608 |
| 3. 書名<br>基礎心理学実験法ハンドブック |                 |

|                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>日本認知科学会、田中 章浩 | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>共立出版          | 5. 総ページ数<br>268 |
| 3. 書名<br>顔を聞き、声を見る      |                 |

|  |                  |
|--|------------------|
| 1. 著者名<br>田中章浩他 (分担執筆), 子安増生・丹野義彦・箱田裕司監修 | 4. 発行年<br>2021年  |
| 2. 出版社<br>有斐閣                            | 5. 総ページ数<br>1002 |
| 3. 書名<br>有斐閣 現代心理学辞典                     |                  |

〔産業財産権〕

〔その他〕

田中章浩研究室HP  
https://tanakalab.sakura.ne.jp

6. 研究組織

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                           | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                    | 備考 |
|-------|---|--|----|
| 研究分担者 | 板口 典弘<br><br>(Itaguchi Yoshihiro)<br><br>(50706637) | 慶應義塾大学・文学部(三田)・助教<br><br><br><br>(32612) |    |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関   |  |  |  |
|---------|-----------|--|--|--|
| オランダ    | ライデン大学    |  |  |  |
| オランダ    | マーストリヒト大学 |  |  |  |
| オランダ    | アムステルダム大学 |  |  |  |